

2025年度

岡山臨床遺伝カンファレンス

新時代を迎えた遺伝性神経筋疾患診療 —押さえておくべき要点と展望—



演者

小牧 宏文 先生

国立精神・神経医療研究センター TMCセンター長 病院臨床研究・教育研修部門長 脳神経小児科診療部長 筋疾患センター長

座長

岡崎 哲也 先生

岡山大学学術研究院医歯薬学域 臨床遺伝子医療学分野
岡山大学病院 臨床遺伝子診療科

<https://forms.gle/tbzgsduewy9RwbLR9>

開催日時

2025年12月12日（金） 18:00～19:15

開催会場

ハイブリッド開催

岡山大学鹿田会館

岡山大学鹿田キャンパス内（岡山市北区鹿田町2-5-1）

参加
無料

遺伝性神経筋疾患の診療は、核酸医薬や遺伝子治療の実用化により、疾患修飾治療の時代へと大きく舵を切った。特にDuchenne型筋ジストロフィー（DMD）や脊髄性筋萎縮症（SMA）では、分子病態の解明と国際共同治験、患者参画型研究（PPI）の進展が新薬開発を加速させ、診療指針や自然歴研究との連動によって治療戦略が急速に変化している。本講演では、長年にわたり臨床と研究の両面からDMDおよびSMA診療に携わってきた経験をもとに、最新の治療戦略とエビデンス、実臨床における適正使用と副作用マネジメント、遺伝学的診断と治療選択への活用、国際動向と今後の展望を中心に、押さえておくべき要点を整理する。研究成果を臨床現場へ橋渡しする視点から、これからの診療に必要な知見と展望を共有する。

岡山臨床遺伝カンファレンスとは？

遺伝診療、遺伝カウンセリング、遺伝子診断に関心を持つ医療者などを対象として、症例検討やトピックスの紹介、抄読会、専門医の資格取得等の支援・情報交換等を行うカンファレンスです。

この会は現地参加の場合のみ、博士課程授業科目の「研究方法論(基礎・応用)」の授業に出席したとみなされる講演会としてカウントすることが可能です。講演参加に加え、質疑応答(30分程度)への参加とレポート提出が必要です（現地参加の場合のみ、見なす講義として認めます）。レポート提出方法:12月25日(木)16時までにプリントアウトしたレポートと研究方法論の出席カードを学務課大学院担当の窓口へ提出してください。レポート課題は「本講演で学んだこと」とし、A4用紙一枚にまとめてください。

お申し込み方法・お問い合わせ

参加ご希望の方は、上記URL あるいはQRコードからお申し込みください

問い合わせ先

岡山大学学術研究院医歯薬学域
臨床遺伝子医療学分野
cgm@okayama-u.ac.jp

主催

岡山臨床遺伝カンファレンス
岡山大学学術研究院医歯薬学域臨床遺伝子医療学分野

共催

NPO法人せとうち臨床遺伝研究会
岡山大学病院 ゲノム医療総合推進センター
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科附属医療教育センター